

議案等の概要

件名については、議決結果一覧をご覧ください。

予算関係

■議案第1号 歳入歳出予算において、歳入歳出それぞれ908万9千円を追加し、総額を474億498万9千4千円とする。【詳細1面下段】

■議案第2号 歳入歳出それぞれ544万3千円を追加し、総額を173億694万6千4千円とする。

■議案第3号 歳入歳出それぞれ12万9千円を減額し、総額を36億238万5千円とする。

■議案第4号 歳入歳出それぞれ110万3千8千円を減額し、総額を62億797万円とする。

■議案第5号 収益的収入及び支出において、収入を62億4万6千円増額し、水道事業収益の総額を35億272万6千8千円とし、支出を40億7万6千円増額し、収支の差額の総額を34億123万7千2千円とする。また、資本的収入及び支出において、支出を101万7千円増額し、資本的支出の総額を22億980万5千8千円とする。

■議案第14号・18号 市長等及び議長等の期末手当の改定に要する経費及び一般職員等の給与改定に要する経費について、国家公務員の給与と法が、備等を行う。

条例関係

■議案第6号 市立住宅として、「よなほと団地」を設置するため、条例を改正する。

■議案第7号 公共下水道事業に、地方公営企業法の規定の全部を適用するため、関係する5条例について、市長が行う処分等を事業管理者が行うよう改めるほか、文言の整備等を行う。

議決結果一覧

「委員会」欄は、●各：各常任委員会、●総務：総務常任委員会、●福祉：福祉常任委員会、●産都：産業都市常任委員会、●文安：文教安全常任委員会、●議運：議会運営委員会、●予算：予算審査特別委員会、●決算：決算審査特別委員会をそれぞれ表します。また、「議決結果」欄は本会議での結果です。

番号	件名	委員会	議決結果
議案第1号	平成19年度八千代市一般会計補正予算（第2号）	総務 福祉 文安	原案可決
議案第2号	平成19年度八千代市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務	原案可決
議案第3号	平成19年度八千代市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	総務	原案可決
議案第4号	平成19年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務	原案可決
議案第5号	平成19年度八千代市水道事業会計補正予算（第1号）	産都	原案可決
議案第6号	八千代市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	産都	原案可決
議案第8号	八千代市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について	産都	原案可決
議案第9号	八千代市立小学校設置条例及び八千代市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	文安	原案可決
議案第10号	路線の廃止について	産都	原案可決
議案第11号	路線の認定について	産都	原案可決
議案第12号	監査委員の選任について	—	原案同意
議案第13号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案同意
議案第14号	平成19年度八千代市一般会計補正予算（第3号）	総務	原案可決
議案第15号	平成19年度八千代市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務	原案可決
議案第16号	平成19年度八千代市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	総務	原案可決
議案第17号	平成19年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務	原案可決
議案第18号	平成19年度八千代市水道事業会計補正予算（第2号）	総務	原案可決
議案第19号	八千代市特別職の職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決
議案第20号	八千代市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決

番号	件名	委員会	議決結果
請願第4号	京成大和田駅改築に関する件	産都	採 択
請願第5号	妊産婦健康診査の無料受診回数増をふやすことを求める件	福祉	不採択

番号	件名	委員会	議決結果
陳情第24号	原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書採択に関する件	福祉	採 択
陳情第25号	日豪EPA/FTA交渉に対する件	産都	採 択
陳情第26号	歩車分離信号設置に関する件	文安	採 択
陳情第27号	沖繩戦「集団自決」への軍閥を否定する教科書検定意見の撤回を求める件	文安	採 択
陳情第28号	八千代市私立幼稚園等就園奨励金に関する件	福祉	採 択
陳情第29号	日興総合研修センター跡地 大規模・高層マンション建設に関する件	産都	不採択
陳情第30号	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める件	福祉	不採択
陳情第31号	介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止を求める意見書提出を求める件	福祉	不採択
陳情第32号	後期高齢者医療制度の抜本的見直しを求める件	福祉	不採択
陳情第33号	緑が丘住宅地の住環境を破壊する大規模高層マンション建設計画の高さに関する件	産都	不採択
陳情第34号	緑が丘住宅地の住環境を破壊する大規模高層マンション建設計画の道路環境に関する件	産都	採 択
陳情第35号	日興総合研修センター跡地 大規模・高層マンション建設に関する件	産都	不採択
陳情第36号	妊婦一般健康診査無料受診の回数増を求める件	福祉	採 択

番号	件名	委員会	議決結果
発議案第28号	八千代市特別職の職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決
発議案第29号	道路特定財源諸税の暫定税率等に関する意見書について	—	原案可決
発議案第30号	原爆症認定制度の抜本的改善を求める意見書について	—	原案可決
発議案第31号	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書について	—	原案可決
発議案第32号	介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止を求める意見書について	—	原案可決
発議案第33号	後期高齢者医療制度の抜本的見直しを求める意見書について	—	原案可決
発議案第34号	「新子ロ特措法案」の廃案を求める意見書について	—	原案可決
発議案第35号	消費税増税に反対する意見書について	—	原案可決
発議案第36号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書について	—	原案可決
発議案第37号	乳幼児医療費助成制度の創設等を求める意見書について	—	原案可決
発議案第38号	パトリオット・ミサイル・PAC3の撤去を求める意見書について	—	原案可決
発議案第39号	沖繩戦「集団自決」への軍閥を否定する教科書検定意見の撤回を求める決議について	—	原案可決
発議案第40号	日豪EPA/FTA交渉に対する意見書について	—	原案可決

※採択された請願・陳情のうち市当局に送付されたものについては、次回定例会で処理の経過及び結果が報告されます。

その他

■議案第19号 市長等及び議長等の期末手当の支給割合を0・05カ月分引き上げ（計4・45）、平成19年度については、12月支給分の支給割合を0・05カ月分、平成20年度以降については、6月及び12月支給分の支給割合をそれぞれ0・025カ月分引き上げるため、並びに1級から3級までの若年層に限定した給料率の改定を行うため、条例を改正する。

■議案第10号 開発行為等により市道路線の起終点に変更が生じたため、市道79路線を廃止するため、条例を改正する。

■議案第20号 人事院勧告による国家公務員の給与改定及び千葉県人事委員会の給与改定並びに扶養手当について、子等に係る支給額を500円引上げるため、また、一般職員の勤続手当の支給割合を0・05カ月分引き上げ、平成19年度については、12月支給分の支給割合を0・05カ月分、平成20年度以降については、6月及び12月支給分の支給割合をそれぞれ0・025カ月分引き上げるため、並びに1級から3級までの若年層に限定した給料率の改定を行うため、条例を改正する。

採択された請願・陳情

■請願第4号 大和田駅周辺を活性化するため、①大和田駅南駅改札口を駅前広場に新設

■陳情第34号 ①車の出入口を工業地域側に確保する。②事業主が住民との話し合いを行うよう指導を求める。

■陳情第36号 無料受診回数5回とするなどを求める。

可決された発議案

■発議案第28号 議長、副議長及び議員が本会議等に出席した場合に支給される日額費用弁償（日額2千円）を平成20年4月1日から廃止する。【詳細は1面下段】

■発議案第29号 受益者負担の趣旨のつとめ、道路特定財源を一般財源化せず、すべて道路整備や道路関係の施策に充当することを求める。

■発議案第30・39・40号 同主旨の陳情が常任委員会にて採択されたことに伴い、地方自治法第99条の規定により、各関係機関に対して、意見書を提出する。

第43号 平成20年2月（2008年）

- 発行 八千代市議会
- 編集 やちよ市議会だより編集委員会
- 住所 八千代市大和田新田312-5
- 電話 (047)483-1151(市役所代表)

やちよ市議会だより

市の花「バラ」

平成19年12月 第4回定例会

補正予算案・条例の一部改正案など

20議案、13発議案等を審議

平成19年八千代市議会第4回定例会は、12月4日から12月21日までの18日間の日程で開催されました。一般質問は、7・10・11・12日の4日間で行われ、代表質問は6名、個別質問に14名の計20名が、市政について質問しました。常任委員会は、総務常任委員会、福祉常任委員会、福祉常任委員会が13日に、産業都市常任委員会、文教安全常任委員会が14日に開催され、議案、陳情等の審査が行われました。市長より提出された議案は、補正予算案10件（うち追加提案5件）、条例の一部改正案6件（うち追加提案2件）、路線の廃止案1件、路線の認定案1件、人事案2件の計20議案です。これらは、最終日の総括審議の結果、すべて原案のとおり可決（認定・同意）されました。この他に請願2件、陳情13件、発議案（議員提出議案）13件が審議され、今回定例会における審議総数は48件となりました。

（一）一般質問等は、2・3面に、議案等の概要と議決結果は、4面に掲載

日額費用弁償を廃止

第4回定例会において、各会派代表者から、議員に対する日額費用弁償支給の規定を削除する発議案（第28号）が提出され、可決されました。これは、平成19年10月23日開催の議会活性化検討委員会（議長、副議長、各会派代表者で構成）において、議員に対する日額費用弁償の支給について協議し、平成20年度（本年4月）からの支給を廃止することを決定したものです。この廃止により、平成20年度以降毎年約210万円が削減されます。

○過去の支給額

平成17年度決算額	2,006,000円
平成18年度決算額	2,138,000円

日額費用弁償…職務を行うために要した交通費等の費用の弁償。現在、八千代市では、条例により本会議、委員会（会期中及び閉会中付議された特定の事件を審査する委員会）に出席した場合に、1日2,000円の定額を支給している。



▲国道16号から村上橋に抜ける「村上202号線」を視察する委員（12月14日産業都市常任委員会の路線認定）

第4回定例会において、5275万8千円（908万9千円（第2号）、436万9千円（第3号））を追加し、総額を474億9356万3千円とする一般会計補正予算案が、原案のとおり可決されました。内容は、表のとおりです。

一般会計補正予算案可決 5275万8千円追加補正

款	補正前の額	補正額(千円)	計	内容
15.国庫支出金	3,936,291	28,869	3,965,160	障害者自立支援給付費負担金、地域生活支援事業費補助金の増額等
16.県支出金	1,954,278	100,219	2,054,497	障害者自立支援給付費負担金、乳幼児医療対策事業補助金、県税徴収委託金の増額等
18.寄附金	1,152	1,962	3,114	社会福祉事業寄附金、交通安全対策事業寄附金の増額
19.繰入金	1,493,491	△78,292	1,415,199	財政調整基金繰入金の減額（△121,961千円（第2号）、43,669千円（第3号））
歳入合計	47,440,805	52,758	47,493,563	

款	事業名	補正額(千円)	内容
2.総務費	システム開発保守事業	7,985	法改正に伴うシステム開発保守業務委託料の増額
3.民生費	障害者自立支援事業	50,605	障害福祉サービス利用者の増加に伴う扶助費、視聴覚障害者用補助器具購入費の増額
	後期高齢者医療制度事業	4,497	後期高齢者医療制度の周知に係る経費の増額
	母子（父子）寡婦等福祉事業	12,197	受給対象者の増加に伴う児童扶養手当の増額
	保育園運営事業	18,552	時間外利用者の増加に伴う時間外保育士賃金の増額
8.土木費	児童発達支援センター運営管理事業	1,500	障害者自立支援対策臨時特例基金事業補助金による遊具及び療育器具等購入費の増額
	乳幼児医療費助成事業	10,328	医療費の受診単価増に伴う乳幼児医療費助成金の増額
10.教育費	交通安全対策事業	2,303	寄附金の採納に伴う交通指導車両購入経費の増額
	小学校管理事業	3,030	平成20年度学級数の増加に伴う管理用備品購入費の増額
12.諸支出金	中学校管理事業	3,316	
	福祉基金積立金	962	寄附金の採納に伴う福祉基金積立金の増額

公明党

代表質問

■正田 豊美 議員
救急医療体制の充実
問 10月31日の事故発生時

答 5回に拡大を。
答 妊娠期の健康診査は、母体と胎児の健康を確保する上で大変重要であること

問 8千代広域公園の整備
問 公園計画の見直しについて
答 県が、「基本計画」に関するパブリックコメント

問 勝田中央公園の整備
問 毎日の生活における、地域の方々や、高齢者等の利用に配慮した施設整備が必要では。
答 施設整備については、(仮称)健康増進センターを核に健康遊具を配置する

新しい豊かさをめざして
市政を
診る・創る
時代をリードする会派の議会活動

会派のスペースは所属議員数に応じて割り当てられたものです。

市民クラブ

代表質問

■武田 哲三 議員
新年度予算
問 新年度予算編成にあ

答 歳入面では、三位一体の改革による影響を的確に捉えた中で、税収は税源委譲等の影響で増加に転じた

問 旧急病センターの施設利用
問 旧急病センターの施設利用の考え方は、
答 駐車場の確保や施設規模・構造などの課題はある

個別質問

■茂呂 剛 議員
新水戸交差点問題
問 新水戸交差点の現状と改良工事の概要は、
答 本交差点の現状は、右折車線が設置されていない

ひろば

代表質問

■秋葉 一 議員
問 市長の給与削減公約を5年間放置している他市の事例はあるのか。
答 把握していない。(市)

問 陸上競技場、②市立中央図書館 ③ふれあい農業の郷(新川に新設予定のゆめかけ橋含む10億円弱の事業(全市民投票的)をパブリックコメント実施を

未来

委員会質問

■伊東 幹雄 議員
総務常任委員会
問 団塊の世代の今後の年度別の退職予定人数は、
答 平成19年度は34名、20年度は48名、21年度は53名、22年度は68名、23年度が47名という状況です。

問 退職後の人員補充に対する長期的なビジョンは、
答 あることなど、交通の流れを阻害する要因が多いことから、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しています。上下2車線の道路の一日12時間当たりの交通量は、約1万4千台と幅員台数(1万2千台)を大幅に上回っており、市内で最も交通渋滞の激しい交差点の一つとなっています。

新風

代表質問

■西村 幸吉 議員 常任委員
(1)行財政改革の視点と展開
(2)行財政改革のビジョン
(3)総合計画の取組みと課題
(4)総合計画との関係
(5)プラン実

問 石井 敏雄 議員
農の価値は消費者の価値
問 農業経営の展望が見えずに不耕作農地が増えている
日本の心、原風景や地域集落景観、伝承文化に影響ある農村地域の質的向上

個別質問

■原 弘志 議員
問 八千代医療センターについて、市民等の意見を聞く運営協議会ができたのか。
答 公募市民2名を含む20名で第1回会議を開催した。3月5日5月フル稼働の見通し如何。

問 重慶救急患者の扱いは、
答 現在は、日医大千葉北救急病棟と両方に対応、4月からは八千代医療センターが主となる。(産)

日本共産党

代表質問

■小林 聖子 議員
高齢者の暮らしを守れ
問 来年4月スタートする後期高齢者医療制度は、75歳以上のすべての方が加入し、保険料が天引きされる。
これまで老人医療では、

答 団塊の世代の職員退職後は、適正な人数の確保とということで、採用を行う予定です。
■松井 秀雄 議員
「陳情第33号、17階高層マンション建設反対」について
八千代市の基本政策は、快適生活空間を目指すとしていますが、東葉線の開業

新政八千代

代表質問

■奥山 智 議員 常任委員
福祉の市政
問 福祉切り捨てを見直す考えはないか？
答 是、否、マツサージ券と福祉タクシード助成制度を復活させる考えはないか？

■横田 誠三 議員 常任委員
1、旧勤労青少年ホーム
八千代台北8丁目の旧勤労青少年ホームは使用実績と今後の使用方針は？
2、公民館の有料化と使用時間帯の変更

活動に協力していく。(総)
■菅野 文男 議員 常任委員
1地域活性化：若者が実施した「八千代台秋のスポーツフェスタ」について
2産業経済：市制40周年記念事業「八千代工業展」について
3農業活性化：遊休農地の現状と対策はいかに、農村の現状と対策はいかに、4学校安全：①学校の安全管理者はだれで教育委員会との連携及び対策はどのようか、②安全の要望と現地危険物の点検はいかに、③危険物(クランドライヤー、小型焼却炉)の管理はいかに、④危険物等の今までの対応処理の経過はどのようであったか、⑤焼却炉について法整備されたか、どのように対応するのかが、
■林 利彦 議員 常任委員
県立広域公園用地利用

「希望の会」の記事は、今回都合によりお休みします。
このページでは、会派の議会活動を代表質問、個別質問、委員会質問、調査研究に分けて掲載しています。
代表質問、個別質問(一般質問)は、市議会開会の3~5日後から3~4日間わたって行われ、その模

●会派別議員名簿 (○は代表者、現員数32名)

Table with 4 columns: Party Name, Member Name, Position, District. Includes Public Party, Citizens Club, New Wind, New Policy 8000, Japanese Communist Party, Hiroba, Future, and Hope Party.

*会派名50音順 平成19年12月21日現在

10年間、高層マンション建設の反対住民に対して、市は長年に渡り放置してきた。当時の人口は18万を有し、千葉県下36市中7番目の都市が、建築基準法と要綱だけが、高層マンション建設に反対する住民に答えられないのでは。早急に条例の制定を考慮すべきです。

うな支援はできないか。
答 ①制度の準備を着々と進めていく。(市)
②市で新たな援助策を行う予定はない。(健)
特定健康施設にあたって
問 来年度から実施される健診は、メタボリック症候群に特化したもので、高い受診目標が設定されている。①料金はいくらになるか。②日曜日の受診体制をどう整備するのか。③十分なPRが必要と思われるが、どう取り組むのか。
答 ①現在の基本健康診査と同程度を考えている。②現在、4つの医療機関が日曜日診療を行っているが、平成20年度の状況を見て検討する。③受診券発送時や

広報紙・ホームページでお知らせする。(健)
問 日本は世界一の食料輸入大国で、食料自給率は40%を割り、先進国では最低水準となっているが、これは政府の政策によるが、めれば政府の政策によって進められてきた。本市でも、農業人口、収入ともに低下の一途をたどっている。
①国の農産物輸入拡大に反対の声を上げよ。
②米価1俵2万円を保障する。
③地元産の野菜・果物を学校給食に。
答 ①②国の動向を注視する。(産)
③これまでも実施しているが、今後も品目を増やすなど努力する。(教)

福祉有償運送制度は福祉タクシード替にはならない。地域問題
・佐倉方面への通り抜け道路の大陥没事故と交通対策
・第2公園下の歩行者・自転車等の安全な通行の確保
・勝田中央公園の再整備
■成田 忠志 議員 常任委員
1、高齢者・障害者に優しい街づくりとして
①歩道橋のあり方について、国道16号線を跨ぐ宮内地区の歩道橋を一例として、歩道橋の廃止は横断歩道の設置が必要でないかを問う。②社会福祉協議会の各支会

習志野市の公民館は有料だが有料化の考えはあるか？午後4時間帯を2時間の2区分にする考えは？
3、八千代台小前の歩道橋老朽化しており小学生のみが使っているが、撤去される横断歩道にする考えは？
■成田 忠志 議員 常任委員
1、高齢者・障害者に優しい街づくりとして
①歩道橋のあり方について、国道16号線を跨ぐ宮内地区の歩道橋を一例として、歩道橋の廃止は横断歩道の設置が必要でないかを問う。②社会福祉協議会の各支会

が開催している交流会の現状及び案内の取り組みについて問う。
2、「ジャコウアゲハ」について保護対策を問う
■塚本 路明 議員
産業都市常任委員会
議案京成大和田駅改築の件
陳情日興証券跡地大規模高層マンション建設計画の件
陳情緑が丘住宅地大規模マンション建設計画の件
審査の結果、すべて賛成の立場で採択とする。